

第14回 島田療育センター 公開シンポジウム

自分を好きになろう

～これからの学習の場と発達障害～



公開シンポジウム実行委員会 事務局 支援部地域連携情報室長 齊藤 美三男

去る2月11日、多摩市・多摩市教育委員会・八王子市・八王子市教育委員会後援、読売光と愛の事業団後援・助成、草の根事業育成財団助成による、第14回島田療育センター公開シンポジウムがベルブホールにて開催されました。今回は「自分を好きになろう～これからの学習の場と発達障害」というテーマで実施しました。家族のあり方や子どもたちを取り巻く環境が大きく変容し発達障害への認識が広がっている中、従来の教育環境だけでは対応が難しいお子さんへの教育、必要に応じた居場所・集団の保障を考える場としました。

基調講演は、東京都発達障害者支援センター長の山崎順子氏より「発達障害を持つ子どもの地域での育ちを考える」と題してご講演いただきました。発達障害のある子どもの学びの場は、外部専門機関との連携が重要であること、専門機関は専門医療や福祉の見地から学習障害に適した指導が求められていること、大人は「子どもの良いところ探し」で本人との歩み寄りが大切であるという内容でした。最後に先生からは『支援はライフステージを通した一貫性のある支援が求められ、「温かい心」と「冷静な頭」で子どもを理解し接してください』との熱いメッセージが贈られました。



山崎 順子氏
東京都発達障害者支援センター
センター長

話題提供者の東京都立秋留台高等学校副校長、高橋和久氏からは「進路指導・進路先選定における支援の実際について」の報告がありました。エンカレッジスクールである当校は、生徒を力づけ一人一人の潜在的な能力を伸ばしていき、中学時に不登校となった生徒の学び直し

の場は、卒後という出口を見据え、退学させない教育を目指しているとのことでした。そのためには学校の風通しが良く、マニュアル化による先生間の共通認識を深めることが重要との指摘がありました。

星槎国際高等学校立川学習センター副センター長の石田博彰氏からは「星槎国際高等学校 星槎中学校 共感理解の取り組みと実践報告」について報告がありました。当校の「共感理解教育」は、身近なことから仲間と繋がりを学び、世界観の再構築や他者理解、命を感じる感性を培うものです。「生かし生かされる中で自分の役割の認識」の形成を目指し、授業や行事、日常の指導など、全てを共感理解の視点で構築しているとのことでした。

最後に当センター副院長の有本潔からは「発達支援センター『セブクロバー』を中心とした取り組み」について、医学的見地からみたライフステージでの発達障害の特徴や支援の枠組み、当センターでの本人への働きかけや教育現場への支援について報告しました。

話題提供後のディスカッションでは途切れなく質問があり、本テーマへの関心の高さを実感しました。発達障害の方が地域で生活していくためには、自尊感情を高め自分を好きになれる支援が重要であることをあらためて認識し、共有できたことは幸いです。



高橋 和久氏
東京都立秋留台高等学校
副校長



石田 博彰氏
星槎国際高等学校
立川学習センター
副センター長



有本 潔
島田療育センター副院長

まいにち My日の楽しいこと

島田療育センター 文化祭



今年も島田文化祭を開催しました。2月11日～3月1日までの期間、センター内廊下の大きな窓に写真展示等を中心に行いました。

「My日の楽しいこと」をメインテーマに、各病棟やほっとステーション、島田分教室・デイケアセンターやピコピコルーム・スヌーズレンのメンバーが楽しい展示を行いました。

展示場所は以下の通りでした。

- 1F 5病棟前のスロープ下
- 2F 療育部室前廊下
- 2F 島田分教室前廊下

どの展示コーナーも個性豊かで、利用者様の笑顔と職員の温かさがいっぱいでした。

(療育長 高橋 節夫)



▲ 療育部前廊下



▲ 5病棟前スロープ下



▲ 島田分教室前廊下



災害教育 【自衛消防活動の重要性】

～ 昭和36年（1961年）島田療育センター創立以来火災なし ～

昨年より多摩市を中心とした連続放火事件も無事解決し、安心して生活できる環境となりましたが、東日本大震災で被災された方々は、4年の月日を経ても未だ不自由な生活をされています。つい自分に火の粉がかからないと他人事のように思われる方が多いのではないのでしょうか。

1月29日厚生棟にて災害教育の一つとし、東京消防庁多摩センター出張所渡辺所長より「自衛消防活動の重要性 一職場を守るために」をテーマに講演していただきました。各職場より140名の職員が出席しました。消防計画や火災時の自衛消防活動、通報要領、初期消火、避難誘導、島田療育センターに配置されている消防設備等の説明があり、島田の自衛消防活動の

重要性がより理解できたのではないかと思います。

常日頃から職員の防災訓練への参加や災害意識が高い事は、関係機関より高い評価を頂いております。今回の講演を機に、より一層、職場、家庭での防災意識が高まることになれば幸いです。
(危機管理対策室 小口 博行)



災害は
「時なし
場所なし
予告なし」

島田療育センターへの ～想い～

島田を支える力

事務部医事課 課長 和田 栄子

就職したきっかけ

私は、家の都合で栃木より転居するにあたり経験をいかせる医療機関での医事の仕事を探していて、ネットで重度心身障害児医療機関の医事係職場長の募集を知りました。実は知人に障害のあるお子さんがいて、東京に専門の医療機関があるという話は聞いていましたし、学生の頃、障害児施設へボランティアに行った経験があり、違ったレセプトにも興味湧き応募しました。今まで経験してきた総合病院にするか悩みましたが、最初に声をかけて頂いた島田療育センターにお世話になることにしました。

今の職種を選んだきっかけ

この職業を選んだ理由は、短期間で検定試験を取得でき、専門職なので経験を積みばどこへ行っても就活には困らないだろうという単純な動機でした。しかしそうではなかったのです。とても奥の深い職業でした。2年ごとに診療報酬請求の改正があり、そのたびに勉強をしないといけないことに気づきました。それからは診療報酬の早見本・検査本・薬価本との睨めっこが始まりました。ただ、幸いなことに私はこの仕事が嫌いではないことにも気づきました。

前医療機関は2次救急の総合病院でした。内科をはじめ13科の外来業務を経験した後、クレーム対応、未収金請求管理、レセプト総括等

外来全体を管理する業務を担当してきました。

最初の頃は、医事コンは導入されていましたがレセプトはオンライン送信ではなく紙提出でしたので、束ねた紙レセプトを紐で閉じるのがとても大変でした。各科ごとの提出でしたので紙レセプトの量もとても多い量でした。今では、システム化が進みオンライン請求ができ、慌ただしさが少なくなったように思います。

患者さんと向き合う中で、元気に話をして笑っていた患者さんが、翌日救急搬送され亡くなられたという悲しいこと、拳銃で撃たれた患者さんが救急搬送されるという恐ろしいことがありました。逆に救急搬送されICUから一般病棟に移り、「お世話になりました。ありがとう」と元気に家へ帰っていく様子を見ると嬉しくなり、私の力にもなりました。小さなことで悩んでいるのが馬鹿らしく思える瞬間でした。また、カルテを見て病気・薬・検査に対する知識を得たことで、安心して病院での説明が聞けるようになりました。

今の仕事に対する想い

今、医療の世界は大きく変わろうとしています。医療だけで行っていたことが、医療から介護へ、在宅医療に重点をおく流れに変わろうとしています。また、島田療育センターはいずれオーダリング、電カルとシステム化されると思います。経験を生かし島田療育センターの診療が困らないように各部署へ診療報酬の内容を伝えていくこと、医事のスキルを上げ、病院機能評価を受けられる体制へ整備することが私の役割だと思っています。

平成
26
年度

ご寄付/ご寄贈 団体・グループの報告

(順不同・敬称略)

寄 付

- 島田療育センターを守る会
- 税金士法人 古田士会計
- 小金井遊技場組合
- 恵泉女学園中学・高等学校
- 巣鴨遊技場組合
- 株式会社プリンセススクウェア
- 高輪ライオンズクラブ
- 後援会基金会員
- 小金井遊技場組合
- 賛助会 法人会員
- 都遊連第十ブロック協議会
- 賛助会 個人会員
- エース株式会社

寄 贈

- セルジーン株式会社
- ソニー生命株式会社
- 東京清涼飲料水工業組合
- 東京都遊技場組合連合会
- 光塩女子学園幼稚園 (奉仕グループ)
- サントリービバレッジサービス株式会社
- 京浜商事株式会社
- 森永製菓株式会社
- 有限会社NSPDクター
- トリックスターズアレア
- 株式会社西陣
- ミリー
- 結城商事株式会社
- やまびこ会
- カープラスワン株式会社
- 西都ヤクルト
- NEXUS株式会社
- 有限会社PBS
- 株式会社コメント
- 碑文谷遊技場組合
- 浅草遊技場組合
- 有限会社アリストプロ
- 青梅遊技場組合
- 東京海上ビジネスサポート株式会社

その他、個人の方からもたくさんのご寄付/ご寄贈をいただいております。ありがとうございました。

ちよつとひと息

私は鎌倉が好きでお休みになると出かけます。必ず行くのは定番の鶴岡八幡宮です。八幡宮には鎌倉駅から小町通りを通るのが一般的ですが、私は江ノ電、和田塚駅で降ります。和田塚駅から住宅街をまっすぐ行くとぱっと景色が変わり海岸線にでます。この景色の変わる瞬間が大好きです。海を眺めながら若宮大路に入り鶴岡八幡宮に向かいます。

真っ直ぐ歩けば時間もさほどかかりませんが、途中にある市場でシフォンケーキ、焼きたてパンを買い、お気に入りのお土産の紅屋のクルミツ子を手にしてからようやくお参りです。最後に鳩みくじをひいてお参り終了。私のお気に入り鎌倉コースでした。



(看護師 高橋 裕美)

島田の動きあれこれ

◆摂食機能療法セミナー

2月5日(木)に行われました

◆第14回公開シンポジウム 記事掲載

2月11日(水)に行われました

◆医療安全講習会

2月23日(月)に行われました

◆心理相談室 第10回講演会

2月28日(土)に行われました

2月のほっと

テーマは「スノー」



寒い冬は豆まき、雪景色散歩など室内でレクリエーションを楽しみました。

3月 行事予定



(○数字は病棟名)

- 4日(水) ドライブ 町田リス園②
- 6日(金) ドライブ 薬師池公園⑤
- 9日(月) ドライブ 町田リス園⑦
- 12日(木) CAPP (動物とのふれあい活動)
- 14日(土) お誕生会
- 17日(火) ドライブ 南大沢⑥
- 18日(水) 小遠足 相模川ふれあい科学館②
- 23日(月) 小遠足 多摩動物公園⑤
- 24日(火) 小遠足 よみうりランド⑦
- 25日(水) 小遠足 こどもの国③
- 26日(木) 小遠足 相模原公園⑥
- 27日(金) 小遠足 多摩動物公園①
- 30日(月) ドライブ 宝野公園①
- 31日(火) ドライブ サンリオビ①-①②③

入退所 状況

平成 27年 1月	入所	退所
長期	0 名	1 名
短期	13 名	10 名
緊急一時	22 名	19 名
医療緊急	3 名	3 名

寄 贈

株式会社セルジーン様よりご寄付を頂きました。昨年クリスマスに向けて鮮やかなポインセチアを頂き、クリスマス会に文字通り花を添えて下さいました。年明けにはメロンを送って頂き、ムースにして利用者様に召し上がって頂きました。職員へはカットした物を頂きました。四季折々の御心使いに感謝致します。ありがとうございました。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会
島田療育センター

住 所 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>